

令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（布勢地区）

日時 2025/8/1 19:00～

場所 布勢公民館

出席者 27名

市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員

進行 19:00～19:03 市長あいさつ

19:03～19:04 出席者紹介

19:04～19:34 市政の概要について（市長説明）

19:34～20:07 意見交換

20:07～20:10 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■出産に対する優遇制度について 昔は結婚が当たり前という時代だったが、今の若い人はなかなか結婚しない。結婚のメリットがあるのかということが問題でないかと思う。例えば一子目で何10万、二子目で100万、三子目で500万や、他市からも氷見市で子供を産むと優遇されると感じられる取り組みがあると良いのではないか。保育園などでも優遇の措置でできることが何かあると思う。そういった施策を考えていただければと思う。</p>	<p>■企画政策部長 子育ての支援については拡充している。お母さん方の間で氷見市でお金をたくさんもらえると評判になっている。そういった支援は県内でも1, 2を争うほどとなっている。結婚をどう増やすかということが課題。20代の女性が男性よりも少ない。出会いの機会がない。昔は村でも男女が出会う機会があったが、現在は職場でもなかなか結婚について言えない状況である。氷見市としては、マッチングアプリなども活かしながらそれぞれに合った方法でどのように出会いを作るかに取り組んでおり、今後も力を入れていきたい。</p> <p>■市長 子育て支援が多いから引っ越して来たという声も聴いている。情報発信も行いながら、氷見では子育てが安心してできると感じてもらえるようにおこなっていきたい。</p>
2	<p>■獅子舞の補助制度について 獅子舞などの修理の補助があるが、噂では、補助の対象になると獅子舞ミュージアムで回さないといけなないと聞いたが、本当か。</p>	<p>■産業振興部長 獅子舞保存会が市を事務局としてあり、獅子舞ミュージアムで年に何回か各地から獅子舞を回してもらっているが、少子高齢化の影響を受け、その回数が少なくなってきた。そのため獅子舞が残っている地区にはご協力をお願いしている。</p> <p>■企画政策部長 補助金を受けたら獅子舞を回さなければいけないということはなく、あくまでもご協力をお願いしている。</p>
3	<p>■県内高校の再編について 氷見高校がなくなるといけないと思っている。人口減の理由は結婚や産業など様々あるが、高校という要がなくなるといけないと思う。高校と会議所や、高校と市役所等、結びついているいろいろされている。高校と中学校や小学校との連携など、そこについては、氷見市としてどう考えるか。前市長は再編が決まって、募集人員が減ったというのを後に報告されたが遅い話である。氷見高校をどう守るかなどコンセプトはあるか。</p>	<p>■教育次長 市では氷見高校の魅力化に向けて取り組んでいる。氷見高校は複数の学科がある市内唯一の大切な高校であり、地域と深く結びついた「HIMI学」も実施している。また、ひみ教育魅力化協議会という支援する組織もあり、農業や商工業の代表の方などにも参画いただいている。氷見高校は県立高校ということもあり、できる範囲で魅力化や、地域との結びつきを深める取組を進めている。DXハイスクールという事業で国の補助金を貰うことにもなっているが、市としては、デジタル化で品物を売買できる店舗を探すことの協力などを行っている。小、中、高校の連携については、今年度から教育委員会が氷見高校の教育魅力化の担当になったということにより進めていくことになる。 今後も魅力化協議会でいろいろな取組を行い、氷見高校の魅力が高まり、多くの生徒が集まるようにしていきたい。</p>

4	<p>■女性が氷見市へ戻るための施策について 娘が県外へ出た。先ほどから女性が戻ってくるというお話があったが具体的にどのような施策で氷見市に戻ってもらうように考えているのか教えていただきたい。</p>	<p>■企画政策部長 県が行ったアンケートの結果で戻ってこない理由は仕事が一番にある。2つ目に仕事の待遇、給与、3番目に古い考え方となっている。仕事の面については、女性が戻ってきやすい仕事が重要であるため、今年度から新たに企業へ助成もしている。古い考え方という面では、アンコンシャスバイアスについて、8月31日に講演会を企画している。それを聞いてもらい、意識も変えていかないといけないと思う。都会に出た女性が男女の扱いについて氷見とは違うと感じるのではなく、氷見と変わらないと思ってもらえるようにしたい。</p>
5	<p>■大型施設について 娘はコンサートに行くが、北陸にそういったものがあったらいいのではないかと思う。県では大型のものを建てる構想などはあるのか。</p>	<p>■市長 構想としてあるのはサッカースタジアムである。駅北の武道館をもっと大きくして場所も変え、人を呼んでいこうという取組もある。氷見市には芸術文化館ができた。収容人数はそこまで大きくないが、椅子をずらしてフラットに使える。商工会議所はEGO-WRAPPIN'を呼び、大盛況であった。「モーニング娘。'25」も11月に来る。氷見の身の丈に合ったものになるが、コンサートなどの魅力的なイベントを今後も開催していく。</p>
6	<p>■企業誘致について 人口減少については氷見だけでないし、高齢化は仕方ないと思う。息子も大阪に行ってしまう後継ぎがない。高校の再編問題もあり、富山県には大学や企業が少ない。氷見も企業があまりない。南インターができる際に企業誘致のうわさも聞いたが企業は来ていない。高岡市の駅南が栄えているのは、やはり新幹線、企業、高速があるためだと思う。氷見のこれからの事業で企業の誘致などの予定はないのか。</p>	<p>■産業振興部長 4月に報道があったが日本ゼオンの氷見二上工場が増設される。これは成果の一つと考えている。企業誘致については、担当レベルでも企業フェアや県のフェアでも売り込みをしている状況である。若者、女性など製造業以外で何かしたい仕事についても考えながらデベロッパーと話しているところである。製造業を主で誘致してきたが、女性の働き口となる企業も誘致していく必要があると思っている。もともとある企業でも変わっていくことが大事である。</p>
7	<p>■バスについて 娘が出ていった等の話があったが、年を取ると買い物も大変である。この布勢地区は町まで近いような遠いような場所である。氷見線もパターンダイヤで動くという話があったが氷見駅からここまでどうやって来るのかということもある。ここでは1日に3本程度しかバスが来ない。カーシェアという話もあるが、バス停まで来て、1時間に1回来るような感じになるとそれに合わせて動けるため、生活しやすいと思うがどうか。</p>	<p>■企画政策部長 バスについて、平日に東京へ出張の際に加越能バスを使ったが、仏生寺まで高校生くらいしか乗ってこなかった。高岡に入ると何人が乗って来たが、高岡駅で6、7人が下りられ、どれだけ乗っていただけるのかが課題である。バスの運転手不足も深刻化してきている。そうするとさらに便数が減るため、加越能バスには今の路線の継続をお願いしている。今後の交通の足の確保が大事であり、市全体で何ができるか考えていきたい。</p>
8	<p>■高岡行きのバスについて 数年前まで、通勤通学の時間に2本あった。それが10分くらい遅くなり、学校に間に合う時間には、1本しかなくなったので、利用者が減ったのではないかと思う。路線の変更は大掛かりな話だが考えていただけるとありがたい。氷見高校生が学校に通うにはまちなかで降りないといけない。朝日丘の交差点は子供の送迎で込み合い大変なため検討いただきたい。</p>	<p>■企画政策部長 高岡行きのバスの時間が少し変わり、乗り換えの電車等もつながりが悪いということなど、バス事業者に伝えていく。</p>

9	<p>■高齢者の公共交通について 通学通勤も大事だと思うが、年寄の交通として、視点を住民に置いたときにどうするかという話である。</p>	<p>■企画政策部長 加越能バスが走っていないところは、八代、灘浦、余川谷、上庄谷、熊無、久目、速川の6路線でNPOバスが走っている。NPOバスと加越能バスが並行して走ってはいけない国の定めがあるが、住民の足の確保については考えていきたい。</p>
---	--	--